

奨励賞 審査委員講評

北海道苫小牧工業高等学校

活気ある TOMAKOMAI を再び
建築甲子園が、駅南前の廃ビル跡地利用計画を考えるきっかけになったことを歓迎します。ただ、図面の完成度もまだ粗削りですので、今後の意欲に期待します。(田中)

青森県立青森工業高等学校

Create From Scratch
～ゼロから生み出す～

屋根フレームは迫力があり、計画案の内容にも期待が持てたが、建物そのものがあまりに普通でもったいない。建物全体の計画が青森の海をモチーフにデザインされていれば評価は高くなるだろう。アスレチックと養殖場の組み合わせは面白い。(吉田)

宮城県白石工業高等学校

ひらかれた 壽丸 ～世代を超えた
交流の場、地域の心を育む～

白石市の登録有形文化財「壽丸屋敷」のリノベーションの提案である。間取りなどが変えられないのは理解できるが、家具や庭、隣地等で、今の時代ならではの何か提案が欲しかった。(石貫)

秋田県立大曲工業高等学校

BOOKS めろんぱん
アパート メロンパン

めろんぱんに模した空間形態をモデルをつくりながら考えるのは建築構造をイメージしやすくして良い。しかし、計画全体が途中になってしまっている。(清水)

茨城県立つくば工科高等学校

みんなの図書屋

子供たちの憩いの場として絵本作家の住宅を一体化させ、本棚の配置や段差、イスの配置などに子供目線で計画したのが微笑ましい。構造計画を明確にすることも重要である。(田中)

栃木県立小山北桜高等学校

薫風家 ～四季と蕎麦を味わいながら～
住宅単体としては、屋根のデザイン含め綺麗にまとまっているが、設定敷地に対してどうかの提案がいまいち。平坦な田園地域との

関係性についての説明が少なく、みんなの広場が地域にどう開き、どう暮らしを生み出していくのかを表現してほしい。(吉田)

埼玉県立春日部工業高等学校

泡の結合 ～子供と外国人から始まる
繋がり連鎖～

外国人が多く住む武里町の学習施設の提案。外国人住居なので多様な生活スタイルに対応しているのかと想像したが、住居は日本式にみえる。また、図面には部屋名を入れて欲しい。(石貫)

千葉県立京葉工業高等学校

木密解放 開く家 ～「場」と「間」～

既存の木密地区に残る親しみやすいコミュニティの中に「地域に開く住まい」提案を埋め込むことによって現在の課題を少しずつ解決しながら、再構成をめざす計画である。しかし、住宅の地域への開き方や小路のつくり方などの具体的魅力に欠けている。(清水)

神奈川県立横須賀工業高等学校

食堂洗濯足湯のオーナー
レジデンス 横須賀市 ～みんなの

食卓・洗濯・くつろぐ居場所～
熟年夫婦で経営する建物規模として、地域食堂に足湯および3部屋の賃貸レジデンスを併設するという、用途の関連性や必要性に疑問を感じる。維持管理を考えるともう少し小規模でも良いのでは。(田中)

山梨県立甲府工業高等学校

昔のような賑わいを

着眼点は悪くないが、機能をつくっただけで計画が終わっている。プランやデザインから設定敷地の地域性を感じられない。四角い箱に機能を入れるだけではなく、自分たちが考えた暮らし方や地域への開き方について、具体的な提案を表現してほしい。(吉田)

新潟県立新潟工業高等学校

3人のクリエイターが住む
沼垂テラスのシェアハウス

商店街に建つシェアハウスの提案。外部空間や1階に住人たちと地域の人とのコミュニケーションスペースやギャラリー等があると、もっと魅力あるシェアハウスとなるのではないか。(石貫)

愛知県立愛知総合工科高等学校

変化する食堂

～支え合う家族のかたち～

子供食堂の運営を安定させるため、時間帯によって子供と大人を入れ替える計画である。時間帯で入れ替わることを強いられる空間が子供にとって居心地の良い場所になるかが疑問であり、食堂と屋外の遊び場だけでは子供の居場所づくりとしては物足りない。(清水)

石川工業高等専門学校

手をとる農家 まもる空

新しい仕組みを取り入れた農家住宅を高校生が提案するのは意外であり、貴重な提案である。人と人との繋がり・農作物の販売も行うのであれば、もっと広いスペースの配置が必要だと思われる。(田中)

福井工業高等専門学校

ひとと広場でつなぐまち

路地のような空間を人が集まれる場所とし、ウッドデッキで繋ぐという提案だが、なぜそこに人が集まるのかという点で説得力に欠ける。ダイアグラムの円が重なる部分、戸建ての住宅と公共空間がどう連携し、交流が生まれるのかをもっと表現してほしい。(吉田)

明石工業高等専門学校

坂に根を張る小さな職宅

商店街の間にある子どもキッチンのある建物の提案。住宅部分の子ども部屋等、窓の無い空間が気になったのと、庭木や地域住民の動線が配置的に工夫されるともっと良くなると思う。(石貫)

奈良県立奈良商工高等学校

OPEN THE CITY NARA

街を開く 農業と共に次世代へ

農業に関連する人専用のゲストハウスを運営する家族の住まいを計画するとあるが、そのための備えが物足りない。本館棟の個性的な平面形やA棟の俵形の外観のために利用し難い空間が生まれている。(清水)

和歌山県立和歌山工業高等学校

ウチソトマンナカ

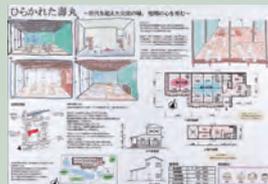
計画を提案する前にさまざまな調査がなされており素晴らしい。「普段見慣れている人々と、昔から続くお互いの助け合い精神を掛け合わせ



北海道苫小牧工業高等学校



青森県立青森工業高等学校



宮城県白石工業高等学校



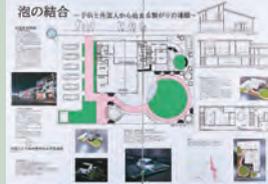
秋田県立大曲工業高等学校



茨城県立つくば工科高等学校



栃木県立小山北桜高等学校



埼玉県立春日部工業高等学校



千葉県立京葉工業高等学校



神奈川県立横須賀工業高等学校



山梨県立甲府工業高等学校



新潟県立新潟工業高等学校



愛知県立愛知総合工科高等学校



石川県工業高等専門学校



福井工業高等専門学校



明石工業高等専門学校



奈良県立奈良商工高等学校



和歌山県立和歌山工業高等学校



岡山県立岡山工業高等学校



広島県立広島工業高等学校



徳山工業高等専門学校



徳島県立徳島科学技術高等学校



香川県立高松工芸高等学校



松山聖陵高等学校



高知県立高知工業高等学校



佐賀県立島原工業高等学校



長崎県立島原工業高等学校



熊本県立熊本工業高等学校



都城工業高等専門学校

たら、集落のコミュニティが一気に活性化する」という思いに若者の未来を期待します。(田中)

岡山県立津山工業高等学校 二人三脚

～地域と共生するコミュニティハウス～
建物の中心に配置したリビングルームがコミュニティ活動の中心となる提案だが、そこが地域にどう開くのか。建物の計画ではなくソフト的な解決しか見込めないように感じる。美しい景色と文化財が豊富なエリアとの設定なので、地域との物理的な繋がりについての提案がほしい。(吉田)

広島県立広島工業高等学校 インフラ“0”ハウス

自然豊かな世羅町で農業を営む家族のインフラゼロ住宅の提案。この環境にコンテナハウスがよいのだろうか？という素朴な疑問がわいた。外との繋がりを活かした住まいのほうが良かったのではないかなと思う。(石貫)

徳山工業高等専門学校 イナリ湯 —新しいふるさとの構築—

銭湯文化をコミュニティ再構築の中心に捉えようという計画は興味深い。しかし「文化湯」でも運営継続が難しい状況であり、たとえば、

銭湯利用だけでなく、より積極的に地域の人たちの憩いの場となるような提案を望みたい。(清水)

徳島県立徳島科学技術高等学校 藍燦燦 ～藍・愛・逢～

歴史ある阿波の「藍」を再認識し、職住一体の戸建ての家を3棟配置する提案は、こじんまりしたテーマパークのようである。住部分に家族で住めるだけのスペースが欲しい。実現すれば楽しそうだ。(田中)

香川県立高松工芸高等学校
寄り道

アーケードの中にぽっかりとボイドをつくり、人を誘導するような計画は評価が高い。段差を活かした変化に富んだシーケンスも、ここで活動を楽しいものに昇華させられるようなイメージを持つことができる。伝統工芸を人を呼び込む仕組みとしている点も面白い。(吉田)

松山聖陵高等学校
水の郷 ～みずと人の架け橋～

水不足対策の貯水を行いながら、クリエイターと地元民、観光客とのコミュニティを計画した建物の提案。住宅として、家族はいないのだろうか？ プライバシーは？ 等の疑問が生じた。(石貫)

高知県立高知工業高等学校
根付き住まう ～新しい町～

戸建て住宅でありながら地区公民館的な活動を生み出そうという意欲的な計画である。3層施設の中で、いろいろなところにいる人たち

がお互いを感じられるような吹抜け等の仕掛けは良いが、あまりに空間が大きくなり過ぎており、計画のきめの細かさが欲しい。(清水)

佐賀県立島原工業高等学校
en ～街から広がる人々の輪～

店舗ユニットを変形させ、職住一体化した建築物を街道沿いの空き地を有効活用する提案である。発想は面白いが、景観的に似たような建物が目立ってどく感じる気がする。円錐屋根を構造的にどう持たせるかが課題。(田中)

長崎県立島原工業高等学校
地域創生 ～雲仙から世界へ～

日本の文化を感じられる中庭としているが、その魅力が引き出されているような計画には感じられない。地域の人との関わり方も、建物的な提案がほしい。枠の中に機能をはめるのではなく、機能から枠を決めるほうが面白い提案になるはず。(吉田)

熊本県立熊本工業高等学校
繋がるえんの家

「人と人の縁を繋ぎ広げる円の住まい」
 セコイアの木を囲むように円形にプランされた、パン工房併用住宅の提案。中央の木だけではなく、庭やまちとのつながり、動線の提案等があるともっと魅力的になるのではないかと思う。(石貫)

都城工業高等専門学校
～港町にくらす家～

飲食を提供し、人が集まり、賑わいをくり出す快適な空間の計画である。観光客と地元の人が交流することがテーマとなっているが、ビジネス客が観光客化するよう滞在時間を延ばす仕掛けがテントサイトにしか見出せないのが物足りない。(清水)